



英語、日本語支援教育にICT活用 府立高校 LINEによる教育相談 通年で実施

—加治木府議の2月定例会の質疑・質問より

加治木一彦府議は3月11日の府議会教育常任委員会でICT(情報通信技術)を活用した府立高校の英語教育や日本語支援教育、児童生徒向けのLINEによる教育相談などについて質疑・質問をしました。概要は以下の通りです。

府は2020年度、学校現場でICTを活用する「スマートスクール推進事業」でパソコンやタブレットを使い、英語を話す力を測定するソフトを開発します。府立高校1校で試験的に実施し、21年度から他校でも使えるようにします。生徒の状況に応じた難易度の設定、一斉かつ短時間でテストができることなどの特徴を生かし、効率的な英語の授業につなげます。

外国にルーツを持つ生徒たちへの日本語支援教育でも、日本語や母語指導のノウハウを持ち、当該生徒が多く在籍する拠点校とその他の学校をICTで結び、遠隔授業や同じルーツを持つ生徒同士の交流を図ります。こちらも20年度はモデル事業とし、課題や成果を確かめながら対象を広げていきます。

児童生徒向けのLINEによる教育相談は公明党府議団が拡充を強く求めてきました。19年度は中高生向けに7月から始まり、20年1月から小学生も使えるようになりました。この4月からは週1回、通年で実施されます。

このほか府内小中学校でのSDGs(持続可能な開発目標)教育、日本遺産などについて質疑・質問をしました。この日の様子は大阪府議会ホームページの動画配信でご覧いただけます。



▲教育常任委員会で質疑する加治木府議

大阪府議会ホームページ

▶ http://www.pref.osaka.lg.jp/gikai_giji/toppage/index.html



活動日誌より

2月 大阪市中央区

16

将来、英語圏の大学に進学を希望する生徒向けに質の高い英語などを教える「おおさかグローバル塾」の成果発表会、修了証書授与式に出席しました。わずか10か月間のプログラムですが、あらゆる面で修了生は大きく成長したと感じました。



▲おおさかグローバル塾修了証書授与式

2月 大阪市西淀川区

20

府議会教育常任委員会で府立西淀川支援学校を視察しました。すべての子どもたちに教育を受ける機会を保障するうえで支援学校は重要な存在です。これからも教育環境の充実を進めていきます。



▲西淀川支援学校

2月 吹田市

21

府立千里高校で府議会の出前授業がありました。生徒からは「2年後に有権者になる私たちは選挙の時、候補者のどのような点に注目して投票すればいいですか」などの質問がありました。生徒たちが政治に興味関心を持つ一助になれば何よりです。



▲千里高校で出前授業

3月 泉佐野市、
大阪市淀川区など

25

新型コロナウイルスの感染拡大で深刻な影響を受けている観光業の現状をお聞きするため、関西国際空港やJR新大阪駅などで関係者のお話をお聞きしました。最近の大阪経済をけん引してきた観光関連産業を下支えする対策にもしっかり取り組んでいきます。



▲関西国際空港



▲トラベルセンター新大阪

